

# RECURVE CROSSBOW

## INSTRUCTION MANUAL

リカーブタイプクロスボウ組立マニュアル  
(汎用共通マニュアル)



パーツ

- 1.弓 (リム) 2.弦 3.本体
- 4.マウンティングスクリュー
- 5.パッド 6.フットスティラップ

機種によっては  
さらに細かいパ  
ーツがはいて  
おります



弓の両脇にプラスチックカバーを取り  
付けクロスボウ本体に横からスライド  
し差し込んでいきます。

120ポンドなど  
一部の機種は弓  
を入れる前に金  
属とゴムのパ  
ッドを先に挿入し  
ておきます。



弓の中央部  
前方から金属パッド・ゴムパッド・弓  
ゴムパッドの順番でパッドと弓を合わ  
せて挿入します。



先端にマウントスクリューを六角レン  
チで差込締め付けます。



本体の先端部にフットスティラップを  
六角レンチでボルト止めします。



弓を大きくしならせ弦を弓にかけます  
この作業は1人ではできません。  
2・3人に手伝ってもらうか、組立補  
助弦を利用して弦の取り付けを行って  
ください。

# RECURVE CROSSBOW

## INSTRUCTION MANUAL



7  
フォアグリップの下のねじをお好みの位置で固定します



8  
1 Windage wheel  
2 Elevation wheel  
照準の調整を行います。  
狙った位置より上へ命中する場合はダイヤルを時計回りに下に命中するときは半時計回りに回します。



9  
安全ロック  
弦を引くとSAFEの位置に自動的に移動します。  
発射の際はFIREの位置に移動させ発射します。



10  
フットスティラップに足をかけ上方へ思いっきり弦を引き上げます。  
野外で靴を履いて行わないとかなりの重さがありますので引けません。

※組立ては出来れば2人以上で行ってください。

※組立てには多少危険が伴います。出来れば長袖長ズボン手袋ほか保護具を使用するようにして下さい。

組立て自体は単純な作業ですが、弦を弓にかけるのに一苦労します。この作業が出来れば組立ては出来たも同然です。

# RECURVE CROSSBOW

## INSTRUCTION MANUAL

### 取り扱い手順

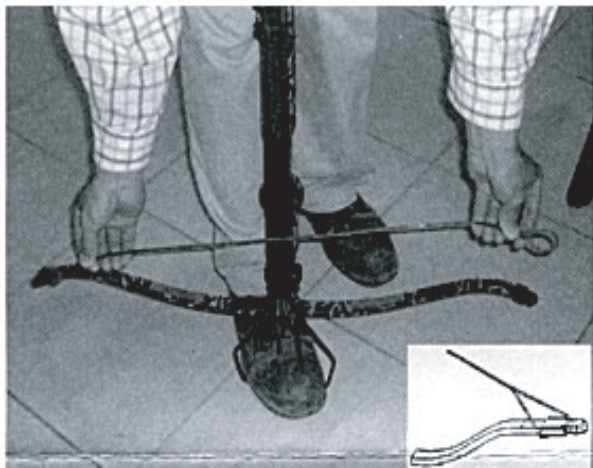
弦を引くのはかなり力が要ります。成人男性でも150ポンドクラスになると苦勞すると思います。(引けない方も居るかもしれません)

使用に際してはゴーグルや保護具を着用してください。

- 1 弦を思いっきりロックする位置まで後方に引きます。
  - 2 安全を確認し矢をセットします。
  - 3 発射位置が決まり周囲の安全が確認できたら、安全ロックを前方へ移動しロックを解除します。
  - 4 発射位置及び周囲の安全を確認できたら引き金を引き発射します。
- ※ クロスボウの発射は非常に危険です。人通りのある場所やその周囲に人や車など通行する可能性のある場所での使用は絶対にしないで下さい。  
(射撃場などでの使用をお願いいたします)
- ※ クロスボウを使用しての狩猟は法律で禁止されております。
- ※ 弓や弦の故障の原因になりますので空打ちは絶対にしないで下さい。
- ※ 弦が矢を飛び越してしまうときは、矢を後ろ一杯にセットするのではなく若干前にずらすようにセットしてみてください。  
また、矢の押さえが強すぎる場合も同様な現象が起こります。矢の押さえ金具を少し緩めてください。  
押さえ金具をきつくしすぎると矢が狙った位置に飛ばなくなり危険です。  
逆にゆるすぎると矢がぶれたり回転して飛んだりすることがあります。  
弓の取付部をレンチで一度緩め調整することにより改善する場合もございます。
- ※ 弦が傷んだ場合はそのまま使用せず危険ですので必ず交換して下さい。
- ※ クロスボウの使用に関しては法律や条令を必ず守り使用・管理するようにしてください。

# 組立補助弦を利用した弦の取り付け（150ポンドリカーブタイプ）

- 1 本体に弓をしっかりと取り付けた後に組立補助弦を左右に斜めに取り付けます。斜めに付けることにより外すときに外し易くなります



- 4 引き金の上部にある安全装置をFIREにし解除します。



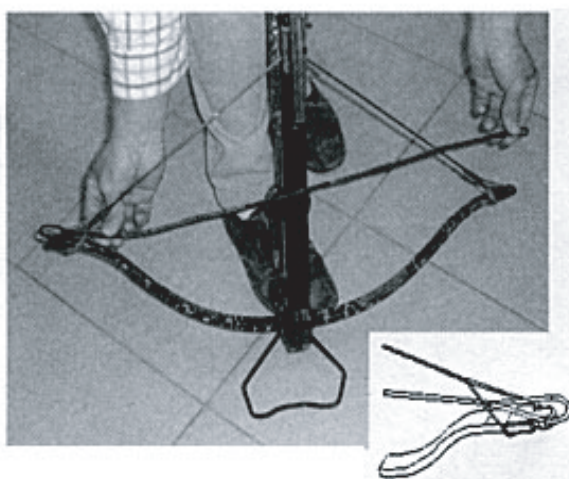
- 2 組立補助弦をカチッと音がするまで手前に引きます。このとき組立補助弦がしっかりかかっているか必ず確認してください。この時の引く重さもかなり重いです。靴を履いて野外で行くと引きやすくなります。



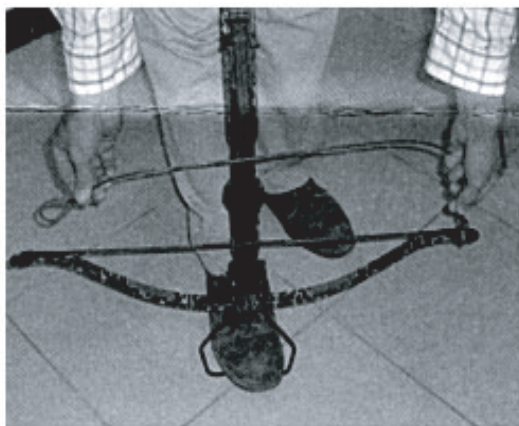
- 5 フットストラップを床にしっかりとつけて引き金を引きます。このとき衝撃がきますので注意してください。



- 3 普通の弦を下の図のようにかかっている組立補助弦の内側を通して弓にかけます。普通の弦は斜めではなく両方しっかりかけます。中を通してかけないと後で組立補助弦が外れなくなりますのでご注意ください。



- 6 最後に組立補助弦を取り外せば完了です。



株式会社エスエスボディガード  
<http://www.body-guard.jp/>

TEL0978-37-2242 FAX0978-37-2442